



第46号

昭和38年3月1日 毎月1回1日発行
昭和38年1月23日第三種郵便物認可

町議会の報告	1
明るい選挙を	1
篤人生をもつ家庭の心がけ	2
農業構造改善事業実施区域	3
肉牛の肥育法	4
鹿島南部福寿行	5
良子さんの日記	6
老人クラブ寿会をたづねて	6
ふるさとに寄せて	7
玉造町の遺蹟	7
商工会欄	8
郵便局より	8

おもな記事



「玉造工高」の 校章きまる

県立玉造工業高等学校は、4月開校の運びとなり、電気科88名、機械科88名、合計176名の生徒が希望に胸おどらせて入学することになります。

県では、本校の輝かしい存在を示す校章を、別図のように決定しました。

地色は「いぶし銀」工の色は「金」です。

図案のV字形は、霞が浦の形を示すとともに、翼の形になるので飛躍していくことをあらわしています。円は、玉造の「玉」の限りない発展を表現するとともに、2科（電気、機械）の融和を示しています。

明るい選挙

4月には統一地方選挙

民主主義は、国民の社会生活が民主的になって、はじめて完全に実現されるものです。

家庭や職場において、私たちがおたがいの人格を尊重し、寛容と協調を心がけ、正しいことを実行する勇氣を持たなければ、民主主義の実現は望めないのです。

民主主義とは、おたがいがいりつばな意思能力をもって、自分自身を治めていくことであるといわれます。

しかし、社会組織が複雑になっていくと、政治にも技術が必要となってくるし、適当な人を選んでこの仕

事をしてもらおうということになってくるのが自然です。

ただ、その選び方がうまくいくかどうかによって、適任者が得られるかどうかの問題がきまります。

つまり、選挙がやりつばに行なわれないと、りつばな政治が悪くなり、私たちの生活に不平や争いの種が生じてくるということになります。

そのために、民主主義を好まない傾向が生まれて、しまいには、民主主義の危機をもたらすようになるわけです。

民主政治を生かすも殺すも、選挙

「追加更正予算」など可決

一部を改正したものです。

議案第6号 昭和37年度玉造町一般会計歳入歳出追加更正予算について

歳入において1,274,000円が追加されました。その内容は議会費の86,100円、燃料費、通信運搬費等の役場職員費270,000円、手賀運池改修工事費等の土木費150,000円、国民年金取扱費を主とした社会及労働施設費695,900円、県知事、県議選挙費等の72,000円となっています。これに見合う歳入としては、たばこ消費税の賦定増、国民年金印紙売りさばき代金等をみこんでいます。

これで、一般会計の予算総額は、113,654,000円となりました。

次第であるといわれるのも、相互に深い関係があるからです。

明かるい、正しい政治を求める公明選挙運動は、個人個人がみずから考え、聞き、論議し、そして正しい自主的な生活態度を身につけるため、すでに数年にわたって歩みを続けていますが、まだ力の弱さを認めざるを得ない状態です。しかし、これは、いつかは必ず実現しなければならぬものです。

4月には、県知事、県議会議員選挙が行なわれますが、公明選挙を実践するには、もっともよい機会です。

みんなで手をとりあって、義理や人情に負けることなく、公明選挙の実現に努力しましょう。



農道や堤防の芝焼き ＝黄萎病防除対策＝

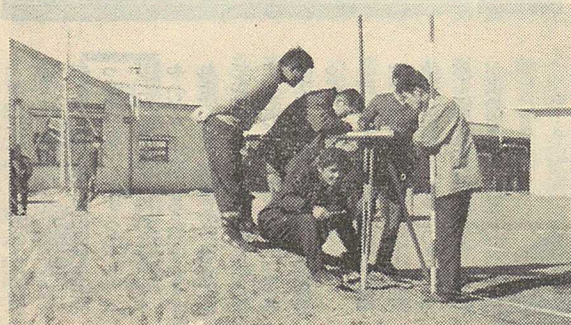
昨年の稲作は、ウイルスを持ったツマグロヨコバイの大量発生によって、黄萎病が蔓延し、近年にない減収にまわりました。

町では、対策協議会を設けて、この防除方法を検討してきましたが、部落ごとに、農道や堤防、畦畔などの雑草を焼くことにしました。

これは、ツマグロヨコバイが草むらで冬を越す習性があるので、その期間中に焼きこころしておこうとするものです。

玉造川向部落では、2月15日、めいめいがボロ切れに廃油をひたし火をつけたもので枯草に点火、広範囲にわたって芝焼きを実施しました。

なお、協議会では、4月下旬、ヘリコプターによる空中薬剤散布を計画、黄萎病の完全防除を期しています。



○妊婦健康相談 毎週月曜日 午前九時から午後三時まで。
○乳幼児健康相談 毎週火曜日 午前九時から午後三時まで、必ず母子手帳を持参してください。

お知らせ

四月一日から、母子健康センターの健康相談日が変わります。
○妊婦健康相談 毎週月曜日 午前九時から午後三時まで、必ず母子手帳を持参してください。

農業構造改善事業

実施区域を指定

浜地区と手賀地区

玉造町は、昨年、農林省から、農業構造改善事業計画区域に指定され、「農業構造改善協議会」をつくらせて、綿密な協議をすすめてきた。二月六日の協議会で、これまでの経過をまとめ、実施区域として、

農業経営技術研修会終わる

中堅指導者を養成

青年研修所へ合宿してつづけた、第二回農業経営研修会は、一月三十一日、終了しました。この研修は、

県主催によるもので、農業構造改善事業の中心となる中堅指導者の養成を目的とし、第一回は昨年八月十六日から二十五日まで、第二回は二月十二日から二十日まで開催、今回は、一月二十二日から三十日まで実施し、これら全部の課

指導所中村技師の「肥育豚の飼育」午後 園芸試験場堀田技師の「水田農作キャベツの栽培法」について

第二回研修会の日記から
二十二日、午前、評論家三浦つとむさんの「物の見方、考え方」と題とする講話、哲学から出発した「ユートピア」たつぷりなお話に、時のたつのを忘れた。
午後、高松普及所長心しを中て座談会をひく。

23日 武蔵野開拓協会のたすね、トラクターの運転、操作の練習をする。半人前のオペレーターになったつもり。
24日 午前、江戸崎養豚指導所中村技師の「肥育豚の飼育」午後 園芸試験場堀田技師の「水田農作キャベツの栽培法」について

30日 午前、水戸家裁調停委員森戸うめさんのお話を聞いた。午後 婦人会役員との話し合い。閉講式を行なう。県知事代理から修了証書をわたされた。
「研修生の測量実習」

導入、大型穀類乾燥機設置などあり、総事業費は、一億一千万円を予定しています。
「これ」で、部落協議会などを開き関係者への周知をはかり、事業の設計にはいるわけだ。順調に進めば、この秋、かり入れ後、事業に着手し、三か年で完了することになります。

25日 午前、土地改良のすすめ方」の講習。午後、県助川技師からの測量の学習を受ける。
26日 平坂測量の実習。4班にわかれて、役場敷地を測量する。

27・28日 2日にわたり、千葉県鎌倉町のなし栽培、五井町のそさい栽培の現地視察を行なった。29日、町の構造改善事業計画について、高野産業課長を中心にして研究討論をした。
30日 午前、水戸家裁調停委員森戸うめさんのお話を聞いた。午後 婦人会役員との話し合い。閉講式を行なう。県知事代理から修了証書をわたされた。
「研修生の測量実習」

食糧事務所から

このころ、稲の作付けもまじかに迫ってきました。
農家の皆さん。米の生産と経済の向上をはかるため、つぎの奨励品種にきりかえてください。

また、優良品種でも、同一品種を3〜4年連続耕作していると品質が低下し、収量も低下しますから、種子を更新してください。
○市場性のあるもの
・水稲もち
・ホーネン早生、利根早生、越光
・農林29号、若葉、クサフエ、越路早生
・信濃もち、埼玉もち1号
△市場性のないもの
・藤坂5号、トワダ、ギンマサリ
なお、不明の点は、検査官または普及所とご相談ください。

新入生をもつ 家庭の心がけ

入学を間近にしたお子さんをもたれるみなさんに、今のうちから心がけていただきたいことを申しあげてみます。

自分のことは自分でできるように子どもは、学校にはいます。なんでも自分のことは自分でやらなければなりません。今までは、なにかといふ親の手助けが手助けしてやっていたことが、いつまでもこの癖が抜けず、子どもは学校にはいつから非常に困ります行動のすべてが、おとなに頼っていきなり、他人まかせでいてはダメです。今のうちに自分のことは自分でできるように、よくしつけておくことが大切です。そして、いろいろな道義の取り扱い方などについてはこのしつけが絶対に必要です。

集団の中で自分をかわらせる学校の生活は、すべて一定のきまりが守られて行なわれます。この体制にならないと子どもの苦労はたいへんなものです。少しでも早く集団生活に慣れ、楽しく生活のできるようにしてやることを心がけなければなりません。それには、ひとりで遊びよりも、何人かの友だちとついでに遊ぶようにしてやることです。とりわけ、わがままな自分勝手は許されませんが「みんな」と協力しあう態度、

約束ごとを守る態度をつくり、自分のことと他人のこの区別、集団の中で自分というものをわかっておくことが大切です。計画的な生活習慣をつける。今までの生活では、時間的な制約はなかったでしょうが、学校にはいります。すべてが時間によってきめられます。だから、朝起きる時間、食事の時間、睡眠の時間などは、きまりきった生活リズムをつくるようにして、生活にリズムをもたせるようにしておくといいです。時間におおきく必要があると思います。時間にならないうちに急な事故が起こればという例もあり、それから、計画的な生活習慣を今のうちからしつかりもたせるようにしたいものです。

いよいよ学校を卒業するときにきました。町でも、中学卒業見込み者四二一名が、卒業証書を受け、次の人生に向って校門を出る日が近づいています。生徒自身のよこひは、もちろんですが、長い年月、雨にわけ風につけが子の成長を見守ってきた保護者のかたのよこひは、何にもまして大きなものであるでしょう。

卒業生の中には、上級学校へ進学するものもあり、就職するものもあり、就職して職業生活の第一歩を踏み出すものもあるでしょう。卒業生の中には、上級学校へ進学するものもあり、就職するものもあり、就職して職業生活の第一歩を踏み出すものもあるでしょう。卒業生の中には、上級学校へ進学するものもあり、就職するものもあり、就職して職業生活の第一歩を踏み出すものもあるでしょう。

新規学卒者の 就職を激励しよう

このころが、たがが県内外のいろいろな職場に就職するわけだ。この若い人たちの門出に際し、みなさんで祝福と激励の言葉をかけたい。若人たちが学校からみた世の中は、きわめて安易なものに見えるが、実際は、これから勤める仕事のむづかしさ、職場生活の苦勞は知らないのが普通で、就職できたよこひだけが、いっしょに

職場では職場の規律によって働き、休み、学ぶという生活を理解させたり、食べず、飲みすぎ、遊びすぎをしないよう健康に注意したり、仕事をよく教えたいたたり、日常生活の中では、よき兄、よき姉、よき父、よき母、職場内の人間関係を良くするよう、暖かい助力をいただいたたいものです。新卒者が、口で職場で働けるよう、励ましていただきたい

3月のこよみ

- 13日まで 春の火災予防運動
- 3日 桃の節句
- 6日 皇后誕生日
- 7日 消防記念日
- 10日 町婦人会総会
- 11・12日 県立高校学力検査(20日合格発表)
- 15日 確定申告の締め切り
- 20日 町民税、事業税の申告期限
- 21日 春分の日
- 22日 放送記念日
- 23日 県知事選挙告示 小学校卒業式

＝町＝政＝日＝誌＝

- 2日 町議会
- 6日 社会福祉協議会
- 10日 こども会後援会5周年記念大会
- 11日 民生委員協議会 玉造地区農業改良計画審議会
- 15日 教育委員会
- 18日 民生委員協議会
- 20日 農業委員会農地部会 部落長会議 選挙管理委員会
- 22日 農業委員会総会 村づくり会
- 25日 青年研修所運営委員会 国保運営委員会



三月の解説

「春三月」といいます。この月は万物生々たる月です。昔からの呼び名は「弥生」といいますが、すべての草木が、春の陽気に導かれて芽(の)のこ(生)の(お)育つ意味です。

三月六日の啓(あ)け(め)つ(と)いうのは、地上がだいに春めいてきて、いろいろな虫類が冬眠を破って活動を始めるようとするので、この名がつけられました。三月二十一日の春分(の)ころ、下向度という日の傾いた北海道にも福寿草や、ねこ柳が咲き、ニジソウ類がはまします。そして、南の九州では、つばめが帰ってきて

肉牛の肥育法 ①

近來、農機具類の目ざましい普及により、牛は、役牛として必要度が少なくなりましたが、そのかわり肉牛として肥育する人が多くなってきました。肉牛肥育は、豚と比べて、飼料の量が広い、相場の変動が少ない等の利点があります。その肥育法について、農業改良普及所の小島技師から指導がありましたので、2回にわたって掲載いたします。

肉牛の肥育については、いろいろ方法がありますが、この地方の農業経営からみて、計画的な肥育が最も行ない易い「短期肥育法」により、年間2〜3回の収入を得ることが有利であると見られるので、これについて述べてみたい。

短期肥育法とは、生後十七、八か月で、体重三〇〇キログラム位の差を講じて、約四か月位肥育し、体重を五〇〇キログラム位にして販売する方法です。

この方法で一番たいせつなことは、養牛の選り方です。

養牛は、まづ飼育し、太りやすいものを選びます。

それには、次の点に注意します。

- 1、顔は丸ぼちゃで、大きな口
- 2、うなじは平らで、舌はきりぎり
- 3、くびは短かめ
- 4、肩は厚めでがっちり
- 5、胸は盛り十分で幅広
- 6、背の線は平らでまっすぐ
- 7、ヒール骨のようならあはら
- 8、十字部は平らで、尻は長くてもよい

幅広

総括して、八頭美人で、体長は体重を二〇〇として、雄牛で二二三、牝牛で二一八位の約り合のものが良い。また、体躯は深く、幅広で、伸びのよいもの、つまり体躯に富んでいるもの。

9、性質はおとなしいこと

次に、よく注意することは

1、背高のつぼや、ちびはだめ。

2、背高のつぼや、ちびはだめ。

3、背高のつぼや、ちびはだめ。

4、背高のつぼや、ちびはだめ。

5、背高のつぼや、ちびはだめ。

6、背高のつぼや、ちびはだめ。

7、背高のつぼや、ちびはだめ。

8、背高のつぼや、ちびはだめ。

9、背高のつぼや、ちびはだめ。

鹿島南部視察行

一 開発すすむ現地の姿

中山部長 鈴木 清

一月二十四日早朝、かねて計画の部長会合の視察研修旅行に出発する。

目的地は、将来玉造町にも近い関係を持ち、しかも県内の最も近い所にある鹿島南部の、鹿島臨海工業地帯、常陸川逆水門、特産指導所の三か所である。

参加者は、会員三十四名と坂本町長、宇高議長、毎日農業委員会をはじめ、高野産業課長、総務課の小倉、佐山の皆さんである。

寒さは厳しいが快晴に恵まれて午前七時一同を乗せ常陸バスは一路、町を後に南下する。

【試験堤】



鹿島臨海調査事務所の荒木田企画調査課長の説明を聞く。

この試験堤は、昭和三十七年五月に着手し、玉造のあたりを通っていたタンクカーが運んだ大きな石塊を投げこみ、アスファルトを流しその上に数メートルのコンクリートをつちあげたもので、七千万円の経費を要したとのことである。

口となる鹿島港の一部になるはずである。十年後には、十万吨級の船舶が出入することになるとは夢のようだが、重要港湾の指定を受け、国家事業で実現確実というものだ。しかも現在既にこのことを目的として、玉造町を縦貫する県道は、産業重要道路として改修、舗装が重点的に進められている。町としては、また、素直にさせるための道路と考へ、何とか足なまりをさせるような施策を今から考へておきたいものだ。

鹿島港に別れをつけて更に南下程々居切の堀割を渡る。将来鹿島港の入り江になるところ、その昔水戸藩公が治水のため北浦の水を太平洋に放流しようとした足を集めてつくった遺跡が、今日、開発の計画と結びついたことに感慨を深める。

この地方の水田も、一筆ごとに防風林でかこまれており水田である。このように砂地を堀りおとして水田をつつた古人の苦労には、頭の下がる思いがする。また畑は、五十人もの労力を費して天に返すことを、有名な切花千両が各所にたれにたれに栽培されている。

十時で、波崎中学校の前を通る。統合されたつばな鉄筋コンクリート建ての校舎、町の現状とくらべうらやましい限りである。新設間もない鉄千大橋をわたる千四百米の目のさめるようなトンネルカーが利根川をまたぎ、天にも昇るような心地がした。大吹

必要があります。まづ濃厚飼料としては、大豆割り、すま、米ぬか等で、粗飼料としては、甘し、稲わら、青刈作物等で、これを配合し、体重に達して一定量を与えることが必要です。

(配合例、期別基準量等は次号)

三月の農作業

保溫折ちゅう苗代

の播種期は、4月5

日〜10日が適期です

種物は、塩水選を行って良い

ものを選び、直ちに消毒します

種子消毒には、水銀剤を使いますが、水温が低いと効果があらな

い場合があるので注意が必要で

す。バカ苗病の出るのは、種子消毒

が不完全であることを示します。

低温でよく水銀剤、例えばリゲン錠、メル錠などを使うとよいで

しょう。

苗代のクン炭は、白く灰になっ

てしまつては熱収収がゼロです。

なるべく、白くしないようにしま

しょう。

育苗中の果樹

類の苗は、途中

で必ず移植を行

ないます。移植床の温度は、元床

より摄氏2〜3度高めにしておく

こと。移す1〜2時間前に元床に

十分灌水してから苗を抜き取るよ

うにします。そして根づくまでコ

モやヨシで覆っておくことが大

事です。

接木の時期。

萌芽の早いもの

から行ないまし

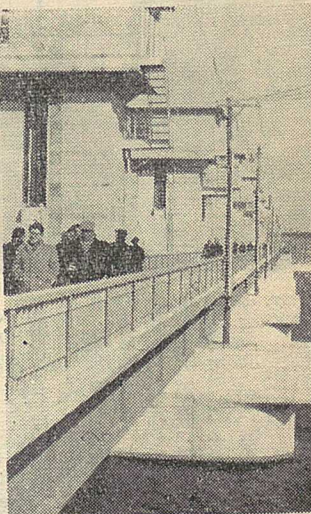
ょう。ウメ、ブドウは、2月下旬

から3月中旬、モモ、スモモが3

月上旬、ナシ、カキは3月中旬

旬、クリ、ミカン、4月から5

月はじめが良いでしょう。



(逆水門)

崎で昼食をとり、再び北上し、第二の目的地山形地の常陸川逆水門へ。

北浦、霞が浦の流れが一しよになつて外浪浦となり、更に利根川にそそぐ間を常陸川といひ、この合流点に建設されたのが逆水門である。これは、一般に知られていない模様だが、極の下の方持のような施設である。しかし鉄千大橋が七億五千万円とかに對し、こちらは千億円の費用を要したというから、国の力の入れ方はたいが違っている。

利根川の洪水が流れこむのを防ぐため、北浦、霞が浦の水位が低下したとき潮流が北上し農作物等の塩害を防止するのが目的である。昭和三十四年に着手し、昨年七月に水門の部分は出来あがり、現在、これを管理する建物と、護岸の工事を実施中である。将来はこれに続けて利根川へも水門を建造し、中六メートルの架橋とするとのことである。

車は更に北上を続け、息栖(のきす)の鹿島南部特産指導所に着いた。



★春先になると、衣服のよごれが目立ってきます。セーターやカーディガンは、お天気のよい日に洗って、日陰干しにする、サッパリとかわきます。ぬれたままサオやハンガーにかけると、形がくずれますから、洗たく板を斜めにたてかけて水気を切ってから干します。そのまましまふ場合には、必ずアイロンをかけて、防虫剤をたっぷり入れておきます。

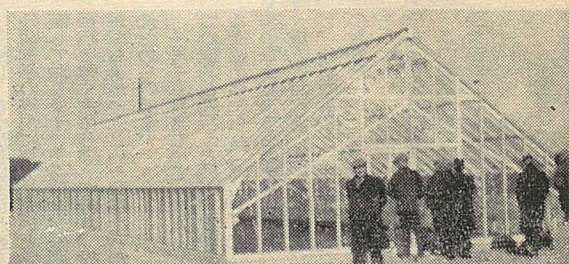


★春先は進学、就職と、若い人たちの精神的負担も大きいものです。同時に肉体的にも消耗の多いときです。また、この季節には、長かった冬の生活様式から衣がえする時期でもあつて、家庭の栄養補給計画を考へて、健康状態をできるだけ整えることが大切です。春から夏にかけての病気のほとんどが栄養不足が原因になっているといわれます。よく体内の新陳代謝を調節するビタミン類の不足にすることが多いといわれており、ビタミンの補給にはじゅうぶん気をつけたいものです。

ビタミンAが不足しますと、発育が悪くなったり、粘膜や皮膚の抵抗が弱くなつて、病気にかりやすくなります。また、ビタミンBの補給には生乳、バター、肝油、卵、みそ、納豆のような醗酵食品、海苔のようものがよいでしょう。

クジラの肉は安くてもしかも栄養があります。クジラ特有のくさみをききりう人もあります。料理の前にタマネギをすりおろした中に、三十分つけるか、またはシヨウガのおろしたものにつけて、そのあとで油でいため焼きをしたり、カッパにしますと、とてもおいしくいただけます。また、しょう油とシヨウガ、ニンニクなどに浸してもよいものです。

この火災原因をみると、ほとんどがちょっとした注意すれば火災を防げるものばかりです。一人一人が細心の注意を払って取り扱えば、決して防げないものではないです。みなさんのお家から、事業場から、こころごと一件も火災を出さないよう注意しましょう。



【ブドウ温室】

限られた予算でうるおうのは、僅か全農家の十、残りの九十の農民はこへ行くのであつた。

自己を反省し、先達地といわれる地方と比較して、経済の隆盛、土地生産の障害を打破するよう、みんなが口を揃えて、同じ目的を持った者たちが、小さいながらも一つ一つを実践して行けば、必ず大事業も完成されるものだとこのことを、きょうはしみじみと考へさせられた。

会副委員長として、また、母子健康センター運営委員として、地方自治の振興、文教、保健の充実を尽力され、こんごの活躍に期待されるどころが大きく、ご逝去は心から哀悼の意を表します。

おくやみ

町議会議員 遠藤博輔氏

かねて病氣療養中のごとく二月十八日、逝去されました。享年五十六才、遠藤議員は、文教厚生委員

窓回

◇転居した際の郵便利用

3月には、学生、生徒が卒業して進学あるいは就職するため、住所の移動がとくにはげしくなります。

郵便利用について、次の点に注意願います。

1 転居届は必ず郵便局へも

住所を移動した場合は、旧住所の配達受持郵便局へ転居届を出しておかないと、旧住所あての郵便物は新住所へ転送されないで差出入にもどされてしまいます。

郵便局では、この転居届の便宜をはかるため、郵便局の窓口のほか、町役場の転入手続の窓口で郵便局から依頼した転居届の用紙と受箱を備え付けてあるので、これを利用すると便利です。

なお、転居届を出してあっても郵便物を転送される期間は1年間ですから、できるだけ早くおまな通信先に住所の移動を知らせておくことがたいせつです。

2、同居人あての郵便には肩書を
都会地では、アパート、下宿、同居、間借り等が多いので、これらの人にあてた郵便は、アパートの名前同居先または下宿先の主宰主の氏名を必ず肩書きすること。

◇郵便物の事故申告制度

郵便物の事故申告制度は、郵便物の不着、内容品の亡失、誤配達、遅延等の事故について、具体的な事実を申告によってよく検討し、事故の所在を早く発見してこのようなことをなくそうとするものです。

申告は、もよりの郵便局へ申し出れば、係員が受け付け、調査票によって直ちに調査して、その結果をお知らせすることになっています。

◇公衆電話の利用には

ご承知のことと思いますが、次のように、公衆電話（赤電話）が設置されています。これは、無電話部落をなくして、国民生活の向上をはかるといふ「国の方針」によってできたものですから、有効、かつたいせつにご利用ください。

1、取扱範囲および時間

電報、電話の発信一切、終日扱（先方からかかって来た場合の呼出しはしません。）

2、料金

電話料（市内一〇円、市外一市外通話料相当額）
電報料（相当料金）

3、電話のかけ方

①まず、2、3回ハンドルをまわしてから受話器をはずし

②局が出たら、相手方の電話番号を告げてそのままお待ちください

③お話しがすみましたら、受話器をかけ、2、3回ハンドルをまわし、通話がすんだことを局へ知らせてください。

④もし局で話し中ですと告げられたときは、電話を切り、しばらく待つて、かけなおしてください。

受託へもお知らせし、料金を支払ってください。

公衆電話加入者名

局	番号	加入者名
玉造	1401	名井 井
	1412	池山 海
	1423	沢山 實
	1434	沢山 實
	1445	井屋 生
	1456	井屋 生
	1467	井屋 生
	1478	井屋 生
	1489	井屋 生
	1490	井屋 生
	2277	井屋 生
	2288	井屋 生
	2299	井屋 生
	2300	井屋 生
	2311	井屋 生
	2322	井屋 生
	2333	井屋 生
	2344	井屋 生
	2355	井屋 生
	2366	井屋 生
	2377	井屋 生
	2388	井屋 生
	2399	井屋 生
	2400	井屋 生
	2411	井屋 生
	2422	井屋 生
	2433	井屋 生
	2444	井屋 生
	2455	井屋 生
	2466	井屋 生
	2477	井屋 生
	2488	井屋 生
	2499	井屋 生
	2500	井屋 生
	2511	井屋 生
	2522	井屋 生
	2533	井屋 生
	2544	井屋 生
	2555	井屋 生
	2566	井屋 生
	2577	井屋 生
	2588	井屋 生
	2599	井屋 生
	2600	井屋 生
	2611	井屋 生
	2622	井屋 生
	2633	井屋 生
	2644	井屋 生
	2655	井屋 生
	2666	井屋 生
	2677	井屋 生
	2688	井屋 生
	2699	井屋 生
	2700	井屋 生
	2711	井屋 生
	2722	井屋 生
	2733	井屋 生
	2744	井屋 生
	2755	井屋 生
	2766	井屋 生
	2777	井屋 生
	2788	井屋 生
	2799	井屋 生
	2800	井屋 生
	2811	井屋 生
	2822	井屋 生
	2833	井屋 生
	2844	井屋 生
	2855	井屋 生
	2866	井屋 生
	2877	井屋 生
	2888	井屋 生
	2899	井屋 生
	2900	井屋 生
	2911	井屋 生
	2922	井屋 生
	2933	井屋 生
	2944	井屋 生
	2955	井屋 生
	2966	井屋 生
	2977	井屋 生
	2988	井屋 生
	2999	井屋 生
	3000	井屋 生

田中和広（根本塾）
田宮利子（ク）
熊田よし子（ク）
横田圭子（ク）
三級（小沢塾）佐田博明、井坂原吉、舟中哲夫、舟中三子、森作日出男、関口正子（長谷川塾）中山京子、金澤英子（中学）栗野喜代子（根本塾）海老沢誠、関口英夫、荒巻たか、森作登米子、富田友江、菊池和子、新堀千恵子、出津よし江、萩原清江、本田信子、池田美智子、長峯春江
四級 井野場久子、坂高行、塚本多喜子、川島三千代、畑誠、畑ひろ美、赤塚定子、貝塚久子、賞谷猛、西谷三三、根本光則、根本宗治、兜里子、兼平通江、山口和子、曾根千子、来栖徳男、稲田千米子、島田昌智子、沼里正、横田寛茂、代々城正、貝塚正、石橋勝彦、箱根忠雄、関町恵美子、埴弘治、島崎重、原晴美、男庭加代子、島本治、関口英夫、河野小夜子、斎藤佐知子、武田美智子、坂本令子、理崎恵美子、関口洋子、高塚茂子、菊池和子、郡司登子、麻生敬子、萩原美喜枝、熊田田美子、大和田光子、尾内よみ
五級 佐川与志 外三六名
六級 勢子勝男 外四十六名
七級 鈴木耕衛 外二十六名
八級 平山晴雄 外三十五名

あとかき

きびしい寒さも、日一日とやわらき、春へのいぶきが感じられま

二月三日は大雪、雪は豊作のきざしといわれています。しかし、天候だけでよいものには得られるものでなく、丹精をこめる人間の条件が必要ではないでしょうか……

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

春くりや満開

商工会欄

点灯式にあたって
街路灯建設委員長
賞谷 蕃

街路灯点灯式にあたりまして、心からお祝い申し上げます。

顧みすれば、当町にも、昭和二十七年頃建設された旧式の街路灯がありましたが、県道の舗装工事のため取り去られ、中央商店街も暗い町と化してしまいました。

昨年三月はじめて街路灯建設の相談がおり、二月に建設委員会が発足、四月には、高崎市観光電器産業株式会社と契約をむすんで、こし一月十三日、一六四基の建設を完了した次第です。

これ、ひとえに町当局の大きなご支援と、建設者各位のご協力の賜ものと深く感謝しております。

こん後は、町の美観は申しに及ばず、明かりの町として、商工振興、犯罪防止に、交通安全に、火災の予防に、お役に立つことと思

います。せっかく建設した街路灯ですから、その趣旨を、ご理解され、毎夜の点灯をお忘れにならないようお願い申し上げます。

皆様方のためにないで発展とご繁栄をお祈りしてごあいさついたします。

鹿行振興青年会
鹿行振興事務所主催の、鹿行振興青年会、二月六、七日の両日、麻生町白帆荘で、開かれまし

た。当商工会から、鈴木俊太郎君（鈴木材木店）が参加し、鹿行区域の現況と、総合振興計画について研究してきました。

振興計画で、玉造町と関係ある二級 小沢 章（小沢塾）

合格者

四級 井野場久子、坂高行、塚本多喜子、川島三千代、畑誠、畑ひろ美、赤塚定子、貝塚久子、賞谷猛、西谷三三、根本光則、根本宗治、兜里子、兼平通江、山口和子、曾根千子、来栖徳男、稲田千米子、島田昌智子、沼里正、横田寛茂、代々城正、貝塚正、石橋勝彦、箱根忠雄、関町恵美子、埴弘治、島崎重、原晴美、男庭加代子、島本治、関口英夫、河野小夜子、斎藤佐知子、武田美智子、坂本令子、理崎恵美子、関口洋子、高塚茂子、菊池和子、郡司登子、麻生敬子、萩原美喜枝、熊田田美子、大和田光子、尾内よみ

五級 佐川与志 外三六名
六級 勢子勝男 外四十六名
七級 鈴木耕衛 外二十六名
八級 平山晴雄 外三十五名

発行所 玉造町役場 発行人 坂本常蔵 編集 振興委員会（定価一部10円）印刷所 新いはらき印刷局